

施 設 名	蟹江町観光交流センター祭人	指定期間	令和6年4月1日～令和9年3月31日（第3期 1年目）
指定管理者	株式会社船井アソシエイツ	所 管 課	政策推進室 ふるさと振興課

評価項目及び評価指標			自己評価	所管課評価
			※ 各項目にて評価点を記載 4 要求水準を大きく上回る 3 要求水準程度 2 要求水準以下 1 要求水準を大きく下回る	
1	1. 平等利用の確保について	多様な来館者が利用するセンターならではの特性を考慮し、平等利用の確保（モニタリング・周知方法等）が実施されているか	3	3
2		情報保護・公開について管理対策は適切に実施されているか	3	3
3	2. センターの設置目的の効果を発揮するための取り組み及びKPIの達成について	センターの運営のみならず、蟹江町全体の観光・産業振興を理解し貢献しているか	4	4
4		センターが蟹江町の観光・産業振興拠点としての位置づけを理解した事業が実施されているか	4	4
5		利用者の要望を把握し、苦情・要望に対して適切に対応しているか	3	3
6		センターの利用促進・サービス向上を図る基本的な考え方にに基づき、具体的に実施しているか	4	4
7		上記について長期的な観点から維持・向上させる方策を考えているか	3	3
8		町の観光・産業振興に繋がるための町事業との連携のあり方について理解をし実施しているか	4	4
9		須成祭文化を紹介する機能と飲食・物販、その他のスペース機能が相乗的に効果を発揮しているか （自発的な出店協力も含む）	4	4
10		センターの設置目的を達成するための効果検証が実施されているか	3	3
11		設定したセンターの来館者目標は達成しているか	3	2
12		自ら掲げたKPIは達成しているか	4	3
13		センターの課題（駐車場など）をふまえたうえで、現実的かつ効果的な対応策が実施されたか	4	4
14	3. センターの効率的な管理運営について	収支予算書と比較して、収支状況は適正か	3	3
15		各積算項目の質は十分であったか また、賠償保険に加入しているか	3	3
16		経費を削減するための取り組み努力がなされているか	3	3
17	4. 安定して運営を行えるものであること（業務実績・運営体制）	組織的に安定しているか	3	3
18		業務を実施するために適切な人員配置がなされているか	3	3
19		業務その他必要な事項に関して人員に必要な教育が十分されているか	3	3
20		地域振興に繋がる地域住民との関わりが持てているか	4	3
21		ガイドボランティアや蟹江町教育委員会との連携が図れているか	3	3
22		祭関係者や観光産業推進関係者（商工会、観光協会ほか、鉄道関係者なども含む）との連携が図れているか	3	3
23		繁忙時等の対応は適正であったか	3	3
24	5. その他（町の観光・産業振興を促進する事業を行えるものであることとともに開館を成功させることができること）	指定事業や自主事業について町の考えを理解した上で実施されているか	4	4
25		6年間の実績・反省点を踏まえ、7年目としての工夫がなされたか	3	3
26		蟹江！観光・産業振興プロジェクトやかわまちづくりと連携した事業を考え、実施しているか （デジタルに読みかえます）	4	4
合計（265項目×4＝104点満点）			88	85

＜評価者コメント＞

指定管理者	提案書記載のとおり、昨年度地域限定旅行取扱主任者の資格も1名有することができ、今年度は旅行社と組んでモニターツアーを造成する際に祭人の存在が大きな意味をもった。 運営している施設があるからこそ、地元の商品を地道に出店して販売するからこそ、地元の方との有効なネットワーク関係があるのは指定管理者ならではの大きな強みである また今年は屋形船で水郷巡りができる環境を整えとともに、須成祭開催時のよしかり船の存続を守った。来年度は、これらのコンテンツをいかし、継続できる仕組みを考えていきたい。 自主事業では、いちじく畑の実の収穫、野菜の納品事業者も更に増え商品も充実した。さらにその情報をSNS（ライン公式アカウント）で発信した。その情報により来場者も増えた。 また人気のカフェメニュー「最愛のいちじくカレー」や「蟹蟹ラーメン」は、リピーターはもちろん「美味しいと聞いた」などの口コミでも広がっていった。 祭人のSNSでの発信や、蟹江町ツイッターインフルエンサーとともに行っているSNSによる発信でも新規の来館者も獲得できた。 月1回のエコ教室への参加者も口コミなどで増えている。今年度も県などが主催するラリーなどへ積極的に参加したことや、マンホールカードの配布施設に加わったことで、来館者増につながるよう努めた。 また、現在、蟹の石碑を新たに作成中である。設置場所はまた改めてご相談したい。
施設所管課	資格所有によって実現したツアー造成や、「祭人」を絡めたデジタルスタンプラリーの実施、そのほかにも町主体の様々な出展に参加したことで、KPIの大幅な達成及び町事業への参画が見受けられた。また、指定管理者がこれまで各事業者・他市町村と築き上げたネットワークや各SNSやホームページでの発信活動等により、施設来館者数は目標値を達成しなかったが、イベント開催による来館者数は前年度に比べ大いに増加し、町の観光・産業振興の拠点として施設の在り方を十分に理解した管理運営が行われている。来年度以降も、より一層の観光資源の発掘・磨き上げを行い、更なる効果的な事業展開を期待する。

＜総合評価基準＞

総合評価	評価の定義	総合計点に対する評価合計点数の割合
A	優れている	8割以上（84点以上）
B	適正に管理されている	6割以上8割未満（63点以上84点未満）
C	一部に改善を要する	4割以上6割未満（42点以上63点未満）
D	多くに改善を要する	4割未満（42点未満）

総合評価	A
------	---

＜利用者評価＞

利用者アンケートの実施状況	各種事業を開催した事業アンケートによる利用者ヒアリングを行った。 枚数全事業総計で1,000枚以上のアンケートを実施した。 ※指定管理業務（一部自主事業）の範囲で実施。（なお、報告とりまとめはそれぞれの業務で実施し報告） （内訳） レンタサイクル：274 108橋巡礼デジタルスタンプラリー：357 町内飲食店利用に関するもの：295 デジタル事業者：10 デジタル人材：20 まちのたね：121
利用者アンケートの実施結果	令和5年度から4拠点運用が開始したレンタサイクル等事業によって町内の滞在時間や目的をヒアリングできた。結果としては、町内滞在時間も増えた。祭人の貢献度も高いと考える。
利用者からの要望・苦情と対応・改善	利用者からの苦情はなかった。また鉄道関係のハイキングでは歩行者の安全を確保した。マルシェの際は、駐車場での出店もある為、出店スペースなど安全に配慮して配置した。